

## はじめに

このドキュメントは L-Acoustics 製品のすべてのユーザーを対象としています。エンクロージャーとアンプリファイドコントローラーの接続に関するリファレンス情報をまとめています。

- [負荷インピーダンスと出力電力](#) (p.1) を参照し、エンクロージャーの公称インピーダンスから**合計インピーダンス**を求め、アンプリファイドコントローラーの**最大出力**を確認します。
- [アンプリファイドコントローラーあたりのエンクロージャードライブ能力](#) (p.2) を参照し、アンプリファイドコントローラーごとにドライブ可能な**エンクロージャータイプと数量**を確認します。
- [スピーカーとの接続](#) (p.3) では、エンクロージャーの種類別に分類した、L-Acoustics のスピーカーケーブルを使用した**一般的な配線方法**を記載しています。
- **固定設備案件**の場合には、[スピーカーケーブルに関する推奨事項](#) (P.6) を参照してください。



エンクロージャーのプリセットやディレイ設定の詳細については、プリセットガイドを参照してください。

## 負荷インピーダンスと出力電力

ほとんどのエンクロージャーの公称インピーダンスは 8Ω です。例外は次のとおりです：

- 16 Ω :
  - K2 (HF)、Kiva II、V-DOSC (HF)、5XT、X4i
- 4 Ω :
  - SB28、KS28、Syva Low、K1-SB

### 合計インピーダンス

公称	エンクロージャー数 / パラレル接続のセクション数				
	2	3	4	5	6
16 Ω	8 Ω	5.3 Ω	4 Ω	3.2 Ω	2.7 Ω
8 Ω	4 Ω	2.7 Ω	-		



**4Ωエンクロージャーはパラレル接続できません。**

各アンプリファイドコントローラーの出力あたりのドライブ可能なエンクロージャー／セクションの最大数については、[アンプリファイドコントローラーあたりのエンクロージャードライブ能力](#) (p.2) を参照してください。

### アンプリファイドコントローラーの最大出力電力

タイプ	16 Ω 負荷	8 Ω 負荷	4 Ω 負荷	2.7 Ω 負荷
LA12X	-	4 x 1400 W	4 x 2600 W	4 x 3300 W
LA8	-	4 x 1100 W	4 x 1800 W	
LA4X	-	4 x 1000 W		-
LA2Xi	4 x 190 W	4 x 360 W	4 x 640 W	-
	-	2 x 1260 W	-	
	-	-	1 x 2550 W	

CEA-2006/490A 1kHz テスト方法、全チャンネル駆動。

## アンプリファイドコントローラーあたりのエンクロージャードライブ能力



### 出力のミュート、全体的な減衰、またはオーディオ品質の低下のリスク。

接続エンクロージャー数（チャンネルごとおよび合計）が最大数を超過してはいけません。

表示数より多くのエンクロージャーをドライブすると、アンプリファイドコントローラーの保護システムが作動する可能性があります。

	LA2Xi			LA4X	LA12X
	出力あたり* / 合計			出力あたり* / 合計	出力あたり* / 合計
	SE#	BTL	PBTL		
X4i	4 / 16	-		4 / 16	6 / 24
5XT	4 / 16	-		4 / 16	6 / 24
X8	2 / 8	1 / 2	-	2 / 8	3 / 12
X12	1 / 4	1 / 2	-	1 / 4	3 / 12
X15 HiQ	1 / 2	-		1 / 2	3 / 6
Syva	1 / 4	1 / 2	-	1 / 4	3 / 12
A10(i) Wide/Focus	2 / 8	1 / 2	-	2 / 8	3 / 12
A15(i) Wide/Focus	1 / 4	1 / 2	-	1 / 4	3 / 12
K1		-		-	2 / 2
K1-SB		-		-	1 / 4
K2		-		1 / 1	3 / 3
K3(i)		-		1 / 2	3 / 6
Kara II(i)	2 / 4	-		2 / 4	3 / 6
Kiva II	2 / 8	2 / 4	-	2 / 8	6 / 24
KS28	1 / 4	-	1 / 1	-	1 / 4
KS21(i)	1 / 4	1 / 2	-	1 / 4	2 / 8
SB18 / SB18 IIi	1 / 4	1 / 2	-	1 / 4	3 / 12
SB15m	1 / 4	1 / 2	-	1 / 4	3 / 12
SB10i	2/8	1/4	-	2/8	
Syva Low	1 / 4	-		1 / 4	2 / 6 a
Syva Sub	1 / 4	1 / 2	-	1 / 4	3 / 12

生産完了品のエンクロージャーとアンプリファイドコントローラーについてはプリセットガイドを参照してください。

a LA12X は出力ごとに最大 2 つの Syva Low をドライブできますが、高出力時はアンプごとに 6 つ以下にしてください。

\* パッシブスピーカーの場合、値はパラレル接続されたエンクロージャーの数に対応します。アクティブスピーカーの場合、値はパラレル接続したセクション数に対応します。

# SE モードでは X4i と 5XT を除くすべてのシステムで最大 SPL が減少します。詳細は LA2Xi のオーナーズマニュアルを参照してください。

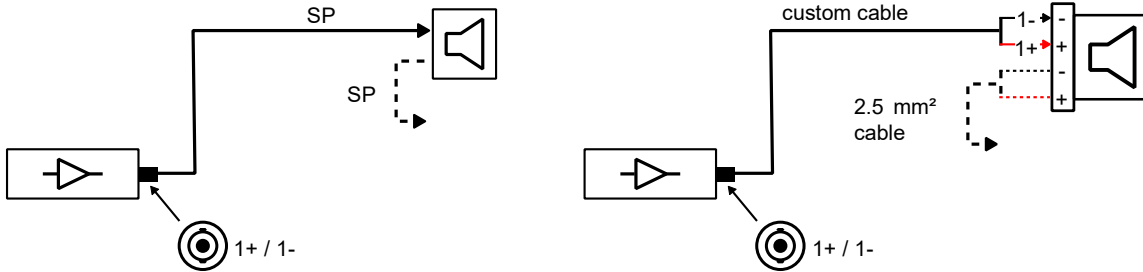
## スピーカーとの接続



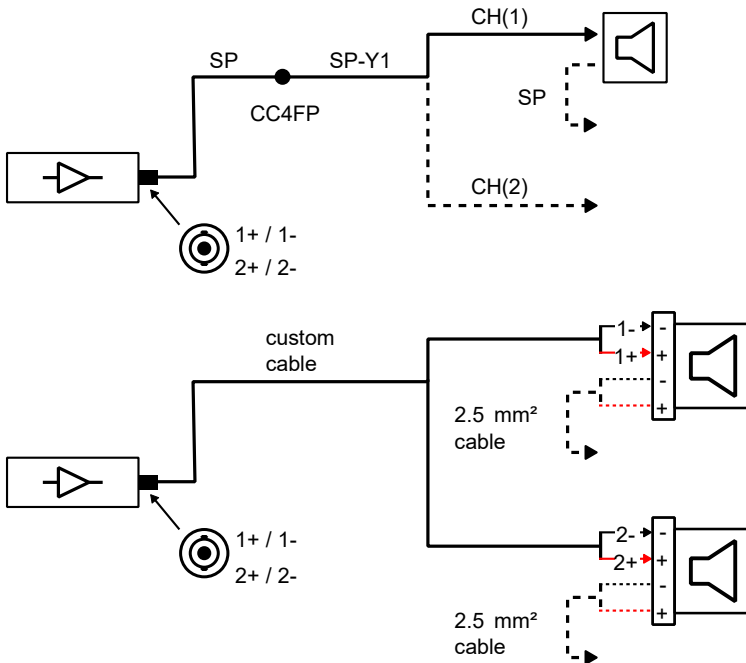
特定のケーブル接続手順については、エンクロージャーシステムのユーザードキュメントを参照してください。

### 2-way パッシブエンクロージャーまたはサブウーハー

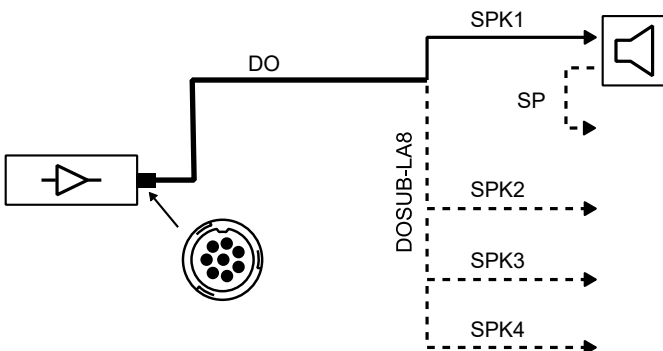
#### 1 チャンネル speakON 出力



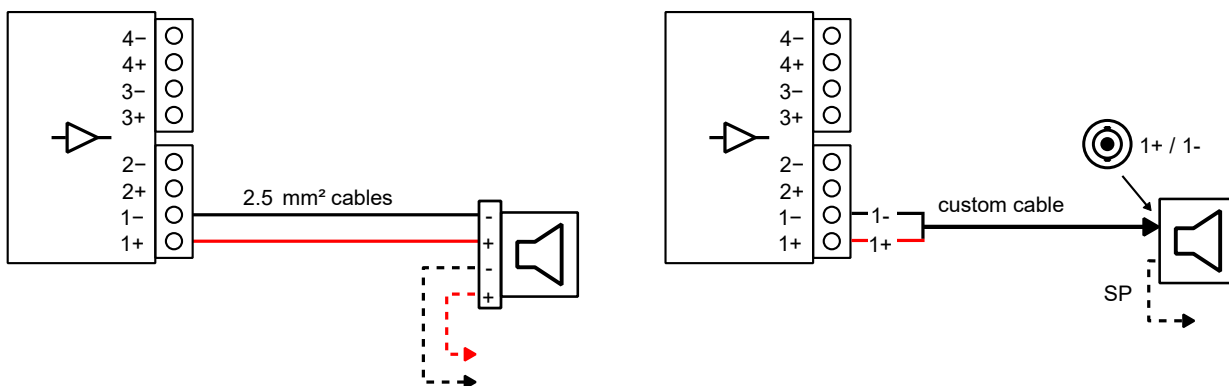
#### 2 チャンネル speakON 出力



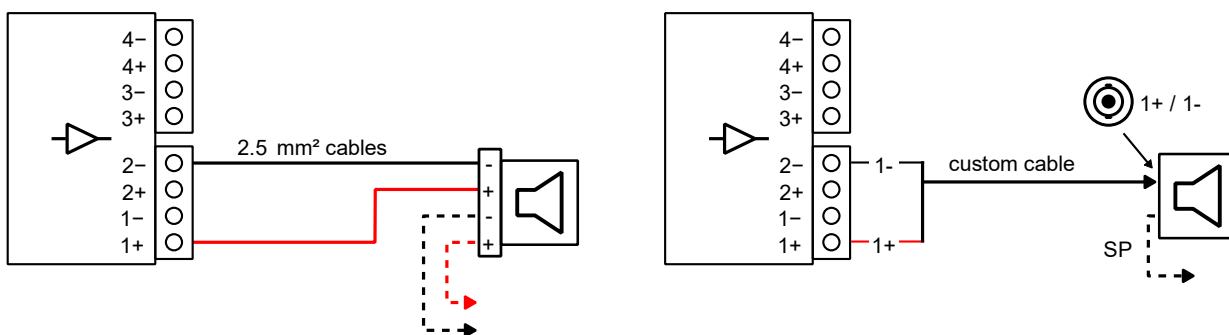
#### 4 チャンネル CA-COM 出力



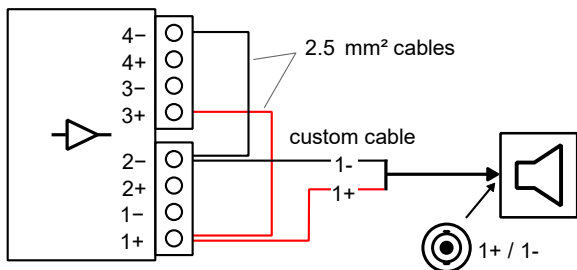
ターミナルブロック出力 (SE)



ターミナルブロック出力 (BTL)

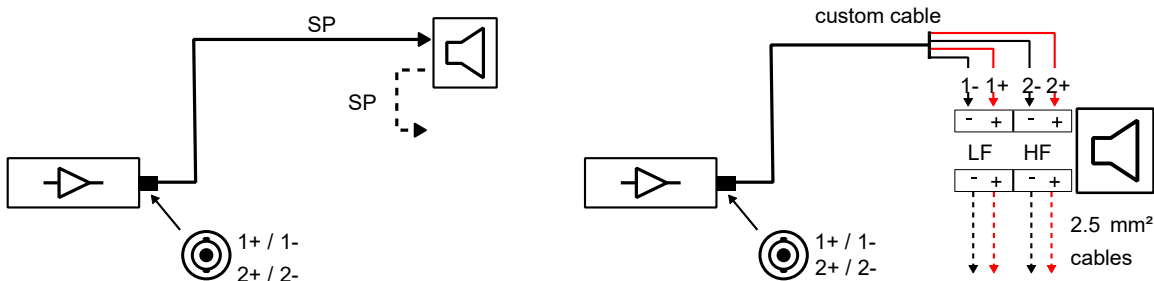


ターミナルブロック出力 (PBTL)

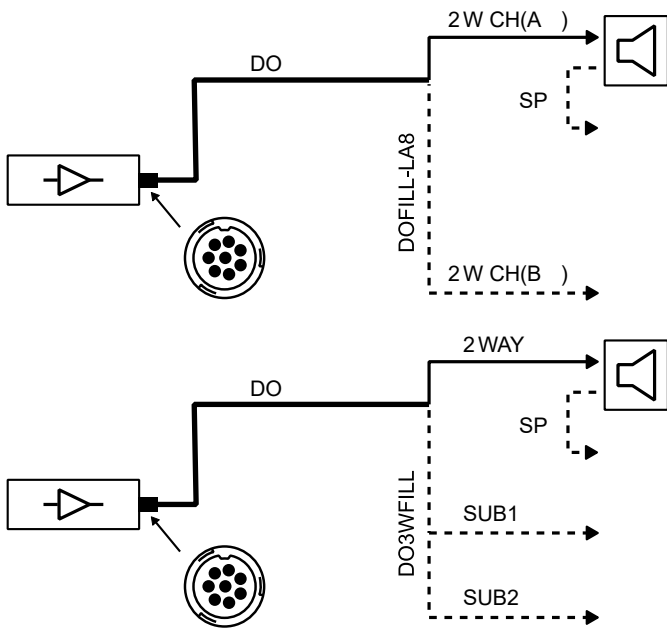


2-way アクティブエンクロージャー

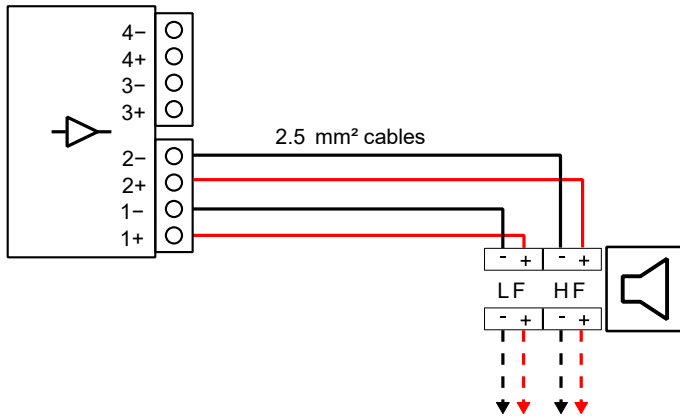
2チャンネル speakON 出力



### 4チャンネル CA-COM 出力

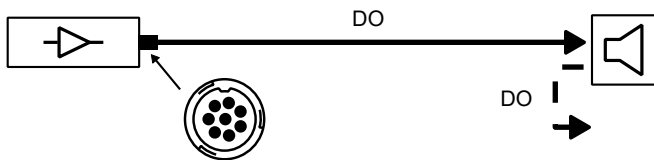


### ターミナルブロック出力 (SE)



### 3-way アクティブエンクロージャー

#### 4チャンネル CA-COM 出力



## スピーカーケーブルに関する推奨事項

音圧減衰を最小限に抑えるために、スピーカーケーブルの推奨最大長に従ってください。



### ケーブルの品質と抵抗

銅撚線による完全絶縁型の高品質なスピーカーケーブルを使用してください。

単位長あたりの抵抗値が低いゲージのケーブルを用いて、できるだけケーブルを短くします。

以下の表は、ケーブルゲージとアンプに接続している負荷インピーダンスに応じたスピーカーケーブルの推奨最大長を示します。

ケーブルゲージ			推奨最大長					
			8 Ω 負荷		4 Ω 負荷		2.7 Ω 負荷	
mm <sup>2</sup>	SWG	AWG	m	ft	m	ft	m	ft
2.5	15	13	30	100	15	50	10	33
4	13	11	50	160	25	80	17	53
6	11	9	74	240	37	120	25	80

より詳細な L-Acoustics 計算ツールにより、接続エンクロージャータイプと数に基づくケーブル長とゲージを評価できます。計算ツールはウェブサイトから入手できます：

<https://www.l-acoustics.com/installation-tools/>